

実施内容	上方落語会と落語体験		体験領域	芸術文化
日付	令和6年2月6日(火)	場所	体育館	
実施校	狛江市立狛江第二中学校			
概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代から約300年続く、日本の古典芸能である落語を鑑賞・体験することで、日本の伝統芸能に親しみ、理解を深めることをねらいとしています。</li> <li>ストーリーやオチが分かりやすい演目を鑑賞したり、手ぬぐいや扇子を用いて日常動作を表現する落語の「仕草(しぐさ)」を体験したりすることを通して、落語をより身近に感じることができる内容となっています。</li> </ul>			

## 「まくら」鑑賞

・落語の本編を聞きやすくするための手法である「まくら」を聞き、落語家の話す向きによって表現する人物が変わることなど、落語の基本について学びました。



・落語家の巧みな話術により、生徒は本編に対する期待を膨らませている様子でした。

## 創作落語「かずとも」鑑賞

・母親と小さな息子が、祖父の葬儀に参列した時の出来事を題材とした「かずとも」を鑑賞しました。



・内容が生徒にも親しみやすいようになっており、オチがわかった時には大きな笑い声が上がりました。

## 落語体験

・4名の生徒が舞台上で落語家の指導を受けて、「うどんをすする」、「焼き芋を食べる」仕草を扇子や手ぬぐいを使って披露しました。

・生徒の披露した仕草はそれぞれに特徴があり、どの生徒の仕草にも会場から大きな拍手と歓声が上がっていました。

・舞台上での様子を見て、自分のハンカチやペンなどを用いて仕草をする生徒もおり、落語への関心が高まっている様子が見られました。



## 参加した生徒の声・反応

- ・落語は初めて聞きましたが、最初に思っていた難しいイメージとは違い、とても親しみやすい内容で、大笑いをしてしまいました。
- ・落語家の方が行う仕草がとても上手でした。特に「そばをすする仕草」は、本当に食べているかのようで、びっくりしました。